

「人生を楽しく、デザインしよう！」

濱口 建

昭和57年3月卒業（34回生）

私の高校時代はバスケット部、軽音楽部を掛け持ちし、勉強はおざなり。当然の浪人生活を経たにも関わらず、努力もせず「滑り止め」大学へ進学。その後も“働きたくない”がために大学院にまで進み、親のスネをかじって6年間優雅に学生生活を送っていました。

そんな生ぬるい生活が証券会社に入ることで一変しました。

バブル崩壊前夜の平成元年に入社してほどなく、日経平均株価は歴史的な高値をマーク後、一気に奈落の底に。来る日も来る日もノルマに追われ、会社に戻れば上司に怒鳴られる。せっかくできたお客様からもクレームの嵐という地獄のような日々が続きました。そんな激辛な社会人デビューを果たしてから2年半。海外駐在員としての辞令が降り、都合5年の海外勤務となりました。ここで腹をくくって我武者羅に働き

勉強した結果、実績と社内評価と、自分に対する自信がついたと思っています。その後任期を終え本社勤務となりましたが、それはまだ「失われた20年」の序章に過ぎず、株価は回復の兆しを見せません。お隣のY証券が倒産し、いよいよわが社も危うい状態に陥りました。そうした中で、縁あって仕事をご一緒した外資系証券会社の社長から直接お声掛けを頂き、転職を決意。商品開発担当副社長として事業の立ち上げにまい進しました。しかしながらまたもやバブル崩壊のうねりが訪れ、転職2年後には日本撤退が決定されました。考えた末、私は都合10年を過ごした証券業界を去ることを決意。かねてから興味があった、異業種である広告業界へ足を踏み入れることにしました。現在の私の担当領域は日本政府が海外に向け売り込みたい様々なコンテンツ(日本産品や製品、観光など)をコミュニケーション(海外のテレビCMや番組、海外イベント等)にする業務が中心です。したがって海外出張も多く、駐在員時代あるいは外資証券時代の知見が生かせる仕事を、楽しみながら進めています。

一方プライベートでは、学生時代からバスケットボールのコーチングを続けており今に至ります。週末には地元小学校のミニバスコーチと大学バスケットボール部の監督を兼務。公私ともに充実した、楽しい人生を歩んでいます。

いま考えれば、決められたレールに乗りこつこつ予定通りの人生を歩む道もまた、幸せだったかもしれません。ただ、軌道修正しながら「生きることを楽しむ」私のような生き様も悪くはないと自負しています。要は結局自分だし、その責任は自分がとるしかない。

ただし一つだけ言えることは、より高い満足を得ようと思ったら、結局どこかで何らかの我武者羅な努力や苦労が必要となるということです。どうせやるなら早いうちが良い。ですので、高校生のみなさんには、部活など好きなことは是非思い切り続けてもらいたいですが、いま目

の前にある勉強からも逃げずに「正面からぶつかることを楽しんで」もらいたいと思います。早いうちにできるだけポテンシャルを高め、パワーをつけて下さい。

生きていれば辛いことも悔しいこともたくさんあります。でもそれは必ず乗り越えられると断言します。そのためには人生を楽しむこと、言い換えれば、自分の納得のいくように、前向きに楽しみながらデザインしていく主体性と樂觀性が大切だと思っています。

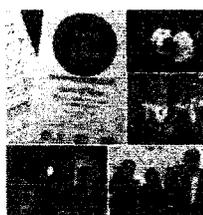
皆さんもどうかそれぞれの素晴らしい人生を、楽しみながらデザインして下さい。

～2015年の私の活動から～

ワシントンDCのセレモニーにて。



現在勤務中の広告会社に入るきっかけは新宿高校OBとの縁であった。



シカゴにて、日本政府主催のイベントを実施。現地では偶然にも、新宿高校バスケットボール部の先輩OGと後輩OGがこのプロジェクトに携わってくれていた。日本から遠く離れたこのシカゴに根を下ろし、たくましく生きているお二方を誇りに思う。



新宿高校時代バスケット部同期が声をかけてくれた縁で大学バスケットボール部監督も務めています。



地元ミニバスケットボールクラブでもコーチを務めています。和気あいあいと合宿指導。

(朝陽同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)